

80. Topologische Gruppe トシテノ Lie 氏 変換群ニツイテ

三村 征雄 (阪大)

抽象的 = 連続群 (廣イ意味ノ) ハ次ノ如ク定義スル、即チアル集合 G ヤリ、第一 = ソレハ群ヲナシ、第二 = ソレハ *Topologischer Raum* ヲナシ、第三 = ニツノ要素ノ合成ノ結果ハソノニツノ要素ノ連続函数デアリ、第四 = アル要素ノ逆要素ハ、ソノ元ノ要素ノ連続函数デアアル時、コレヲ (廣義ノ) 連続群 (*Topologische Gruppe*) トイフノデアアル。

サテソノ具体的ノ例トシテ Lie ノ変換群ヲ考ヘル時、ソレナラバ之レヲ如何ニシテ *Topologischer Raum* ト考ヘルコトが出来ルカ。Van der Waerden ノ講義ヲ開イテ見ルニ、何モ書イテナイ。ソコデハ直チ = 一次変換ノ群ニツイテ、ソノ行列ヲ $A = (a: k)$ トスルトキソノ近傍トシテ $|a: k - b: k| < \varepsilon$ ナル如キ $(b: k)$ ノ集合ヲトツテキル。然レ之レ = 少し不満ガアル、即チ *Parameter* ノ前 = 群ガ位相ツケラレテキナケレバナラナイト思フノデアアル。トイフノハ通常一次変換トソノ行列ヲ同ツモノト見ナスノハ、ソノ合成規則ニツイテ同型 (*isomorph*) デアルトイフ所カラデアラウ。連続群トシテモ全一ト見ナス處 = ハ極限 = 関シテモ同型デアアルコトガ判ツテ初メテ意味ガアルト思フ。即チ変換ヲ形式的 = デナク粗朴的 = 函数ト考ヘ、ソノ位相ツケガ *Parameter*

ト別 = 先 = 考ヘテ居ナクテハナラナイト思フ。一般ノ変換 $x'_i = f_i(x_1, x_2, \dots, x_m; a_1, a_2, \dots, a_n)$ = ツイテ考ヘルナラバ更 = ハツキリスル。ココデ変換即チ x_i ヲ変数トスル函数ガ a = 連続的 = depend スルトイフノハ $a^{(n)} \rightarrow a$ ナルトキ函数 $f_i^{(n)}$ ∈ 亦 f_i = 収斂スルコトデアラウ。 a ノ空間ガ位相ヅケラレテ居ルカラソレデア宜シイヲハ少シハ満足ノ様 = 思フ、ソレデア $a^{(n)} \rightarrow a$ ナル時、 $f_i^{(n)} \rightarrow f_i$ ナル収斂ハ如何ナル種類ノ収斂デアアルカラ調べテ見ヤウ。

ソノ為メ先ヅ変換ノ定義サレテ居ル x ノ集合 M ハ (I) 任意ノ開集合 (II) 又ハ有界 + 閉集合トシ、 $\frac{\partial f_i}{\partial x_j}$ ハ x, a = ツキ連続トスル。(一次変換ノ定義範圍ハ空間全体デアアルカラ (I) = 属スル) 然ルトキ $a^{(n)} \rightarrow a$ ナラ (II)ノ場合ハ $f_i^{(n)}$ ハ f_i = 一樣 = 収斂スル。故 = カ、ル収斂 = 適合スル位相ヅケハ普通ノ様 = ニツノ函数ノ“距離”トシテ其差ノ M = 於ケル極大ヲトレバヨイ。コノトキ函数ノ空間ハ *Topologischer Raum*ノミナラズ *Metrischer Raum*トナレ。

次 = (I)ノ場合ヲ考ヘル = $f_i^{(n)}$ ハ M ノ内部ノ任意ノ領域ガ一樣 = 収斂スル。之ハ複素数函数ノ所謂 *Famille normale* = 於テ見ラレル収斂デアアル。之ヲ モンテル氏 = 敬意ヲ表シテ、モンテル式収斂ト名付ケヤウ。ソコデ問題ヲ次ノ如ク呈出スル。

「アル開集合ヲ定義サレタ連続函数ヲ位相ツケ (Topologisieren) シテ、ソレヨリ定義サレル収斂ガ モソテル式 デアル様 = スルコト」

ソレハ次ノ様 = シテ可能デアル。開集合 $M = \bigcup N_i$ 、

$N_1 \subset N_2 \subset \dots \subset M = \bigcup N_i = M$ ナルゴトキ開集合ヲ

考ヘ、函数 f ノ近傍トシテ $N_i = \{g \mid |f-g| < \varepsilon\}$ ナル如キ g ノ集合 $\bigcup_{\varepsilon} U_{\varepsilon}(f)$ ヲトレバ之ハ Hausdorff ノ公理ヲ満足ス

ルコトガ判ルノデアル。更ニ之レガ Separabel 即チ第二種ノ (従ツテ第一種ノ) Abzählbarkeits-axiom ヲ満足スル近

傍系デアルコト、又所謂 Normality ノ條件ヲ満足シテ居ル

コトモ判ル。Separabel + Topologischer Raum ガ

Normal デアレバ、ソレト距離ヲツケルコトガ出来ルトハ有名

ナル Urysohn ノ定理デアルカラ、我々ハ モソテル式 収斂ヲ定

義スル距離モ存在スルコトヲ知り又同時 = Metrisierung ヲリ

モ Topologisierung ノ方が容易ナ一ツノ例ヲ見ルコトが出来

ルノデアル。

x x x x x x x x

附記1. 尚 *Normal + Topologischer Raum* トハ " $P \cap Q$
が共通点ヲ持タヌ閉集合ナル時、夫々 P, Q ヲ含ミ互ニ共通点
ヲ持タヌ二ツノ開集合が存在スル" トイフ命題ノ成立スル空
間デアアル。 *Separabel + Topol. Raum* が *Normal*
デアアルタメニハ次ノ所謂 *Regularity* ナル性質ヲ備ヘルコト
が必要且充余デアアル (*Tychonoff. M.A. 95*). 即チ "点 P が
閉集合 $\mathcal{U} = \text{合マレルトキ、モ一ツ } V \subset \mathcal{U}$ ナル P ヲ含ム開集合が
存在シ、 V ノ *abgeschlossene Hülle* $\bar{V} \in \mathcal{U} = \text{合マレテ}$
居ル" トイフ命題ノ成立スルコトデアアル。

附記2. 私ハ *Metrisation* が容易デナカラウト云ツタ所、南
雲氏ニハ容易デアツタラシク、早速距離ヲツケテ下サツタ。
全氏が別ニ書カレルデアラウト思フが、コノデ有難ク御礼申
上グル次第デアアル。 — (1月14日) —